



「いつも 立っていてくれて ありがとう…」

教育長 服部裕美子

桜の花に祝福されて、新たな1年が始まりました。朝の登校時間帯に、子どもたちの通学する姿が加わり「新年度」を実感します。黄色いワッペンを付けた新1年生が上級生にまじって元気に歩いています。「毎日、安全に、元気に通ってね。」と願わずにはられません。

4月6日から春の交通安全運動が始まり、警察署や交通安全協会、地域コミュニティや各学校PTAなど、皆さんが一体となって、交通指導や旗振りなどを行い、子どもたちの安全を見届けてくださっています。また、年間を通じ、登下校時に、交通の激しい交差点や横断歩道、危険箇所立ち、見守りを続けてくださっている方々が多くいらっしゃいます。

小学校に勤めていた頃、長い間、通学路に立ち見守り活動をされている方からお聞きした話を思い出します。卒業を間近にしたある日、6年生のA君から「いつも立っていてくれてありがとうございました。安心して歩けました。」と、感謝の言葉をもらったというのです。「1年生の頃は泣いてばかり。挨拶をしても返ってこないの、聞こえていないかと思っていた。いやあ、すごい成長…。」と、本当にうれしそうに話してくださいました。日頃、言葉少ないA君の勇氣、気持ちに、胸が熱くなりました。毎日、子どもを見守り、長い目で成長を見つめてくださる方々によって、子どもが、温かく育まれていることを深く感じました。

家庭と学校をつなぐ通学路、そして、子どもたちの生活の場でもある地域社会。子どもたちは、学校や家庭では体験できない多くのことを経験しながら過ごしています。時には困ったことに出会いながらも、友達や地域の方に助けられたり自分自身で乗り越えたりしながら、たくましさをも身につけていくのでしょうか。社会が変化し、子どもたちが日常的に人と関わる機会が減っていく中で、地域活動への子どもの参加や教育活動への協力など、子どもを守り温かく育もうとしてくださる地域の方々の力やPTAの皆さんの輪の広がり、力強く感じています。

「おはよう」「行ってらっしゃい」「どうしたの?」・・・と、今日も、各地域で、多くの子どもたちが声をかけていただいています。子どもたちの心に蒔かれた「種」は、いつか芽を出して育ち、周りの人を幸せにする力となるのだと思います。

「いつも、ありがとうございます。」と、今は言葉にできない子どもたちの声が、あちらこちらから聞こえてくるような気がします。



青少年教育センターの活動

沼津市青少年教育センターは、平成29年度も引き続き、青少年健全育成のための次のような活動を実施していきます。

1 方針

青少年をめぐる諸問題に対処するため、家庭をはじめとして地域・学校・警察他関係機関との連携の下に、補導・教育相談・研修活動を通じて、青少年の健全育成に努めます。

2 活動内容

(1) 補導

① 補導活動

中央補導と地区補導の活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、青少年の非行・被害防止に努めます。

② 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

③ 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

(2) 教育相談

① 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

② 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

③ 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

④ 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

⑤ 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。



(3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」のうちの相談指導学級における体験研修を実施します。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：TEL 951-3440

平成29年1・2・3月の状況

1・2・3月には新たに申込みがあった8件（1月4件、2月3件、3月1件）を含め、42件（延べ相談回数364回）の相談に応じました。

1 相談内容別新規相談件数

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	3	1	0	0	0	4
2月	0	1	2	0	0	0	3
3月	0	1	0	0	0	0	1

2 相談対象者別

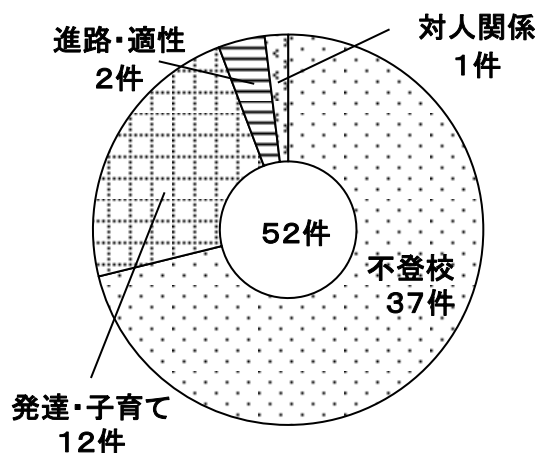
	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
1月	0	1	3	0	0	0	4
2月	0	1	2	0	0	0	3
3月	0	1	0	0	0	0	1

3 平成28年度の新規相談受付状況

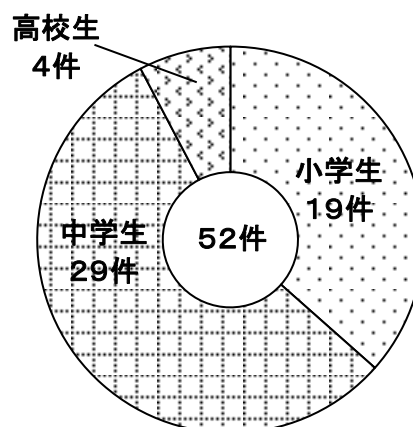
受付件数 52件 （前年同期 55件）



相談内容別



相談対象者別



4 1・2・3月の相談件数（新規及び継続）

対象	性別	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		2	2				4
	女		3					3
中学生	男		19	4				23
	女		11	1				12
高校生	男							0
	女							0
少年	男							0
	女							0
一般成人	男							0
	女							0
計	男	0	21	6	0	0	0	27
	女	0	14	1	0	0	0	15
男女合計		0	35	7	0	0	0	42

5 1・2・3月の相談回数（42件の相談延べ回数）

性別	面接	訪問	その他	合計
男	212	12	9	233
女	124	5	2	131
計	336	17	11	364



6 相談指導学級の様子

昨年度の相談指導学級の開級期間は平成28年4月11日から平成29年3月16日まででした。通級者は11人で、内訳は中学1年生が2人、中学2年生が3人、中学3年生が6人でした。

相談指導学級は、人との関わり方を学ぶなど、小集団訓練を行う場です。初めのうちは慣れない友達とお互いにどう接したらよいのか戸惑いを見せていた生徒ですが、通級を重ねるうちに打ち解けていき、最後には別れを惜しんで涙するくらいの心の結びつきができました。「学校で友達があまりいなかったのが、相談指導学級でみんなと関われるのが楽しかったです」、「みんなと一緒に楽しく過ごし、あっという間に時間が過ぎました」、「私も少しはみんなと会話できるようになりました」などと、生徒は1年間を振り返って感想を述べました。

年度当初より通級していた生徒のうち、2学期に学校復帰した生徒が3人いましたが、新たに中学3年生が2人入級をしました。1学期から通級していた生徒と合わせて3年生が3人になりましたが、全員がそれぞれ希望する高校に合格し、進学していきました。学校復帰をした生徒も進学を決めた生徒も、相談指導学級での経験やここで蓄えたエネルギーを生かして、これからの生活を切り開いていくことと思います。通級生の今後の成長が楽しみです。

電話相談



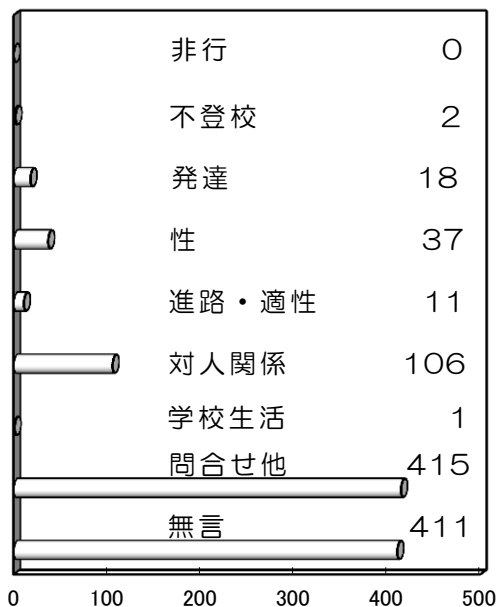
◎ 非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎ 相談時間：
 午前10時～午後7時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎ 愛称：やまびこ電話 951-7330

平成29年1・2・3月の状況

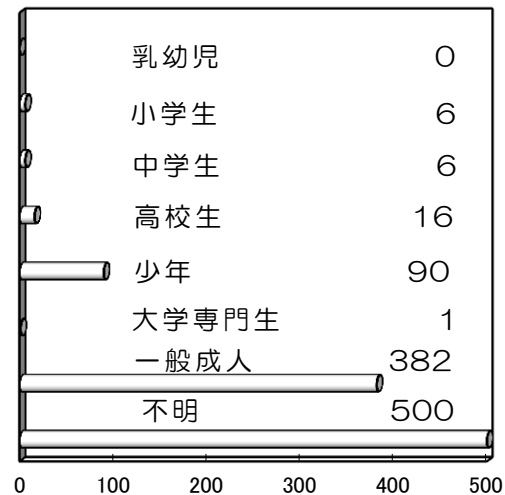
1月には223件、2月には356件、3月には422件の相談が寄せられました。
 （前年1月:349件、前年2月:406件、前年3月:475件）

1 1・2・3月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



2 平成28年度の電話相談受信件数状況

総件数 3,577件（前年 3,850件）



(1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	2	13	64	98	70	437	17	1,279	1,597

(2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	37	31	69	228	3	1,390	1,819



補導委員の心得

母親補導委員 野秋美枝子

10年前の事です。駅前駐輪場で喫煙をしている数人の高校生を見かけました。目にした途端、大人として注意すべき責任感と声をかけることで取り囲まれるという恐怖心が交錯しました。周りには他に誰も居ません。足どりは重くなり、胸の鼓動が聞こえてきました。彼らの横を通り過ぎるまでの数十メートルの間、注意すべきかどうか心の葛藤は続き、気付くと小さな声で「たばこは体に悪いよ。」と言っていました。攻撃的な言葉にならないように、その時私が考えた精一杯の声掛けでした。高校生達は怪訝な顔で一瞥し、何事も無かったかのように会話を続けていました。私は彼らに背を向けた後も緊張から解放されず、遠く離れてやっと安堵することができました。

しかし、同時に恐怖に怯え、面と向かって注意出来なかった無念に肩を落とし、恥ずかしさで顔を真っ赤にして家路につきました。今でも鮮明に思い出す、ほろ苦い補導のデビューでした。

そして、3年前に母親補導委員を委嘱され、補導委員の心得を学びました。少年補導委員手帳には、「子供たちへの温かい思いやりの精神」を基調とし、非行化しようとしている段階での非行防止が大切である」と記してあります。あの駐輪場での事を思い返し、恐怖心が先立ち、私には温かい心が欠けていたことを反省しました。今でもまだ上手に注意する事は出来ませんが、補導委員の心得を礎に声掛けをし、優しく見守りながら街頭巡回活動をしていきたいと思えます。



1 少年補導委員の延べ参加人数（1・2・3月）

	市職員	教員	女性 補導委員	母親 補導委員	地区代表 補導委員	警察	地区 補導委員	総数
1月	10	17	14	4	8	1	267	321
2月	9	15	13	2	7	0	266	312
3月	5	5	4	5	11	0	239	269

2 補導回数・補導状況（1・2・3月）

	補 導 回 数				注意・指導 愛の声かけ	事 後 指 導	
	午 前	午 後	夜 間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
1月	5	11	33	49	259	0	0
2月	5	9	35	49	199	0	0
3月	1	5	35	41	73	0	0

3 補導活動（1年間の累計）

補 導 回 数	延 べ 参加補導委員数	注 意 ・ 指 導 愛 の 声 かけ	事 後 指 導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
524	3,761	2,124	0	0

4 1・2・3月の街頭補導少年の学識別状況（中央・地区別補導）

平成28年度の補導活動へのご協力ありがとうございました。

昨年途中ではありましたが、行為種別「その他」に計上していた「愛の声かけ運動」の件数を、別枠で掲載することにしました。従いまして前年度に比べ、行為種別に対する学識別の計が大幅に減少しました。

補導委員の皆様、本年度も愛の声かけをよろしく願います。



区分	学識別	性別	小	中	高	その	有	無	計	一年間累計	
			学	学	校	他	職	職			
			生	生	生	学	少	少			
行為種別	飲 酒	男							0	1	
		女							0	0	
	喫 煙	男								0	5
		女								0	0
	夜 間 は い か い	男		2						2	48
		女								0	58
	不 良 交 友	男								0	4
		女								0	1
	怠 学 ・ 怠 業	男								0	0
		女								0	0
	ゲームセンター入場	男	0	18	61					79	318
		女	4	8	15					27	164
	パチンコ店入場	男								0	0
		女								0	0
カラオケ店入場	男								0	0	
	女								0	0	
自転車の暴走行為	男	1							1	9	
	女								0	3	
自転車の二人乗り	男								0	10	
	女								0	2	
自転車の無灯火	男		2	1		5	2		10	40	
	女								0	6	
危 険 な 遊 び	男	6		1					7	7	
	女	4							4	4	
そ の 他	男								0	191	
	女	2	6	2					10	206	
計		男	7	22	63	0	5	2	99	633	
		女	10	14	17	0	0	0	41	444	
男 女 合 計			17	36	80	0	5	2	140	1,077	

事後指導	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関 へ 連 絡	男							0	0
		女						0	0	
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

愛 の 声 か け 運 動	男	126	26	60	1		3	216	594
	女	121	21	33				175	453
男 女 合 計			247	47	93	1	0	391	1,047

「眠り」について考える Part VII

＝自分にあった睡眠スタイルの確立＝

1日に必要な睡眠時間は一般的には7時間から8時間といわれます。しかし、この数字には、科学的な根拠はないようです。

必要な睡眠時間は、人によって個人差があります。そして、大別すると3つのタイプに分かれます。その中の1つが全体の8割から9割の人が属しているといわれる「バリュアブルスリーパー」で、必要な睡眠時間は、6時間から9時間です。

以前、睡眠周期について紹介しましたが、1周期は90分です。4周期6時間後、または、5周期7時間30分後にすっきり目覚めるには、寝付くまでの時間を加味して、睡眠時間は、7時間から8時間となります。つまり、この数字は一般的な平均値といえます。

それに対して「ショートスリーパー」と呼ばれるタイプは必要とする睡眠時間が6時間未満で足りる人です。ナポレオンやエジソンは、その代表として有名です。割合としては、1割弱の人が属しているといわれています。

しかし、単に、仕事に追われ、否応なく睡眠時間が短くなってしまっている人を「ショートスリーパー」とはいいません。「ショートスリーパー」とは、6時間以内の睡眠であっても、睡眠不足を感じることなく、快適な生活が送れる人です。

反対に「ロングスリーパー」は、9時間以上の睡眠を必要とする人です。1割弱の人が属しているといわれています。長時間の睡眠が必要であるにもかかわらず、現代社会においては、生活環境や労働条件から、十分な睡眠が確保しにくくなっています。したがって、仕事・健康面において支障を来す人が現れてきています。つまり、人によって適した睡眠時間は異なり、何時間寝なければならぬと決めつけることはできません。

また、年齢や活動量の違い、就寝環境によっても睡眠の質が異なり、個においても、必要な睡眠時間は変わります。例えば、短時間であっても、爽快に目覚めて、日中に眠けに襲われなければ、それが、その人にとっての適正な睡眠時間です。

大切なことは、自分にあった睡眠スタイルを確立することです。

センターの活動予定 (5・6・7月の主な活動) ※天候による変更あり

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
5月11日(木)	春の野草を楽しむ会	5月11日(木)	春の野草を楽しむ会
18日(木)	農園体験	24日(水)	社会体験活動「消防署見学」
25日(木)	調理体験	6月1日(木)	創作活動「陶芸教室」
6月1日(木)	創作活動「陶芸教室」	21日(水)	自然体験活動「海釣り」
8日(木)	高校見学	6/30(金)~7/7(金)	七夕祭り(笹飾り短冊作成)
15日(木)	農園体験	7月12日(水)	自然体験活動「柿田川湧水群見学」
22日(木)	調理体験	7/24(月)~26(水)	はばたき教室開放
29日(木)	創作活動	27日(木)	自然体験活動「磯の生物観察」
7月6日(木)	清宏園見学	補導関係	
13日(木)	農園体験	5月12日(金)	補導委員会代表者会①
20日(木)	調理体験	23(火)24(水)26(金)	新任補導委員研修会
		6月23日(金)	補導委員会感謝状贈呈式
		7月3日(月)	非行・被害防止キャンペーン
		10日(月)	県内一斉夏季補導
		14日(金)	補導委員会体表者会②
		29(土)30(日)	夏まつり特別補導



明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言 (昭和55年)

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。